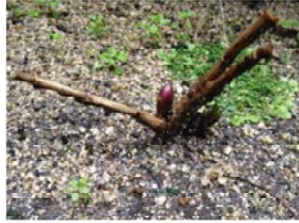


サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

2月に入って少し暖かい日がありましたが、まだまだ寒い日が続きますね。庭に植えている紫陽花の新芽もまだ硬く閉じたまま、足踏み状態が続いています。

早く暖かくなって、元気な葉が出てくるのを楽しみにしています。



さて、私ですが、久しぶりにパーマをかけました。毛先はほんの少しなじませるだけで、根元にボリュームを出すだけのパーマです。

結果は、悩んでいたペタンとした感じ、後頭部の絶壁が、手ぐしで乾かすだけで解消できてとても気に入りました。このようなパーマだったら楽で良いですね。

今回、パーマをかけようと思ったのは、パーマをかけることによって、私にどんなメリットがあるのかを、雑誌から切り取った写真などでつくられたPOPや紙芝居風のアプローチブックでわかりやすく説明していただき、イメージが伝わったからです。先生の提供したいパーマと私の悩みが一致したからです。

■自分の運命は自分の考え次第で決まる

ある先生とパーマの話をしていた時「後輩の美容師さんがフェイスブックでマザーテレサの言葉に「いいね」をしているのを見て、ちょっと刺激を受けたんです。」と言って、マザーテレサの言葉を紹介して下さいました。

「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。」

この言葉を読んだときに、自分の思っていることに、自分の胸にズドンときたそうです。

「良くない思考をもっていると良くない運命になるんだら、良い思考で行かないと運命は良い方に向かない」

『自分の思考次第なんだと。』よくある言葉なんだけど今もらって良かった」とおっしゃっていました。

周りにとられるのではなく、自分が大好きな美容の仕事に情熱をかけて取り組んでいくことが自分にとって楽しいことだし、美容の仕事を楽しんだら、人生が楽しくなるんだろうなど、これなら簡単なことだと思ったそうです。「そう思うと、パーマとかでも、今のままでいいじゃないかではいけない。雑誌に載っているようなゆるいパーマを自分はかけていない。どうしても強くかけてしまう。安全だから。もっと攻めの姿勢でいかないといけないな」と、「そしてそのためにはもっと根気よく、勇気を持ってチャレンジして行こうと思います。いらん話をしている場合じゃない」とおっしゃっていました。

自分の人生は、自分で楽しくしていきましょう。

■和の経営

亀山先生の勉強会で「和」の経営について教えていただきましたのでご紹介させていただきます。大原則として「命あるものの世界のみ発展と衰退があります。」

一生懸命努力している間は発展します。手を抜くと滅亡へと通じていきます。大事なことは、「発展、衰退の法則」＝「体系化」と言って、体系化するものは盛え、体系化せざるものは衰えるということです。それは我々の身体、家庭、会社、国も全て同じです。体系化＝一言で言うと「和」となります。

聖徳太子の17条の憲法の最初に「和をもって貴し……」と書いてあります。この「和」のことです。

それでは、和とは具体的に言うと何なのかとなってきます。それは、和とは「仲良くすること」といったことではなく、「異なりを認めて一つを自覚する」と言うことです。

例えば、手と足は異なりますが、助け合ってはじめて完全に動くことができます。

また、5本の指も各々が異なっているから上手く筆使いが

※裏面に続く

できます。もし、指全てが親指だったり人差し指だったりしたら、「持つ」という行為は成り立ちません。異なっているから、物事は成就します。まさに「異なるが故に事成る」異なるが故に事が成るのです。

人間は皆何処か違います。人それぞれに個性があり、長所もあり、短所もあります。自分と考えが違うからと言って批判しあってばかりではしかたがないのです。その個性をお互いに認め合い一つの集団を自覚することです。人は皆良い所もあり悪いところもありお互いさまです。そこで互いに認め合うことが重要になってくる訳です。

亀山先生は、順序が逆で「一つを自覚しつつ、異なりを認める」、先に「皆が一つを自覚している」上で、「異なりを認める」ことだとおっしゃっていました。

「一つを自覚する」とは

- ①共通の目的、目標があること(志を持っていること)
- ②中心があるかどうか→お互いの共通の理想を、身を以て示すリーダーでなければ務まらない
- ③お互いが己らしく自覚した行動をとる

以上、身を以て示すリーダーがいてはじめて「和」の経営がうまれるのだと思います。

この機会に、十七条憲法についてわかりやすくまとめたものがありましたのでご紹介させていただきます。

現在の憲法と違い、内容は官人の心得になっています。

最初の第一条と、最期の第十七条の内容は、「和」がなによりも大事だということを重ねて注意しています。「争うことをせず、とことん話し合っていけば物事はうまく運ぶ」ということです。



第一条・人と争わずに和を大切にしろ

第二条・三宝を深く尊敬し、尊び、礼をつくしなさい
(三宝: 釈迦、その教え、僧)

第三条・天皇の命令は反発せずにかしこまって聞きなさい

第四条・役人達はつねに礼儀たたくありなさい

第五条・道にはずれた心を捨てて、公平な態度で裁きを行いなさい

第六条・悪い事はこらしめ、良いことはどんどんしなさい

第七条・仕事はその役目に合った人にさせなさい

第八条・役人はサボることなく早朝から夜遅くまで一生懸命働きなさい

第九条・お互いを疑うことなく信じ合いなさい

第十条・他人と意見が異なっても腹を立てないようになさい

第十一条・優れた働きや成果、または過ちを明確にして、必ず賞罰を与えなさい
第十二条・役人は勝手に民衆から税をとってはいいけない

第十三条・役人は自分だけではなく、他の役人の仕事も知っておきなさい

第十四条・役人は嫉妬の心をお互いにもってはいいけない

第十五条・国のことを大事に思い、私利私欲に走ってはいいけない

第十六条・民衆を使うときは、その時期を見計らって使いなさい

第十七条・大事なことは一人で決めずに、必ず皆と相談しなさい

最後に いつもの山の素敵な本屋さんに薦めていただいた本をご紹介します。



『きよしこ』
重松 清著

どこにでもいる少年。転校生。言いたいことがいつも言えずに、悔しかった。思ったことを何でも話せる友だちが欲しかった。そんな友だちは夢の中の世界にしかいないことを知っていたけど。ある年の聖夜に出会ったふしぎな「きよしこ」は少年に言った。伝わるよ、きっと。大切なことを言えなかったすべての人に捧げたい珠玉の少年小説です。
(アマゾンより)

余談ですが、食卓にこの本を置いていたら、子供が「私の本が何でここにあるの・・・」私が「これ、お父さんの本だよ」と言ったら、「ほうなんじゃ。私好きなんよ」。同じものが読めてうれしい気持ちになりました。

この本をお求めになりたい方はお申し付け下さい。商品と一緒にお届けさせていただきます。
※お届けまでに少し時間がかかることがあります。ご了承下さいませ。